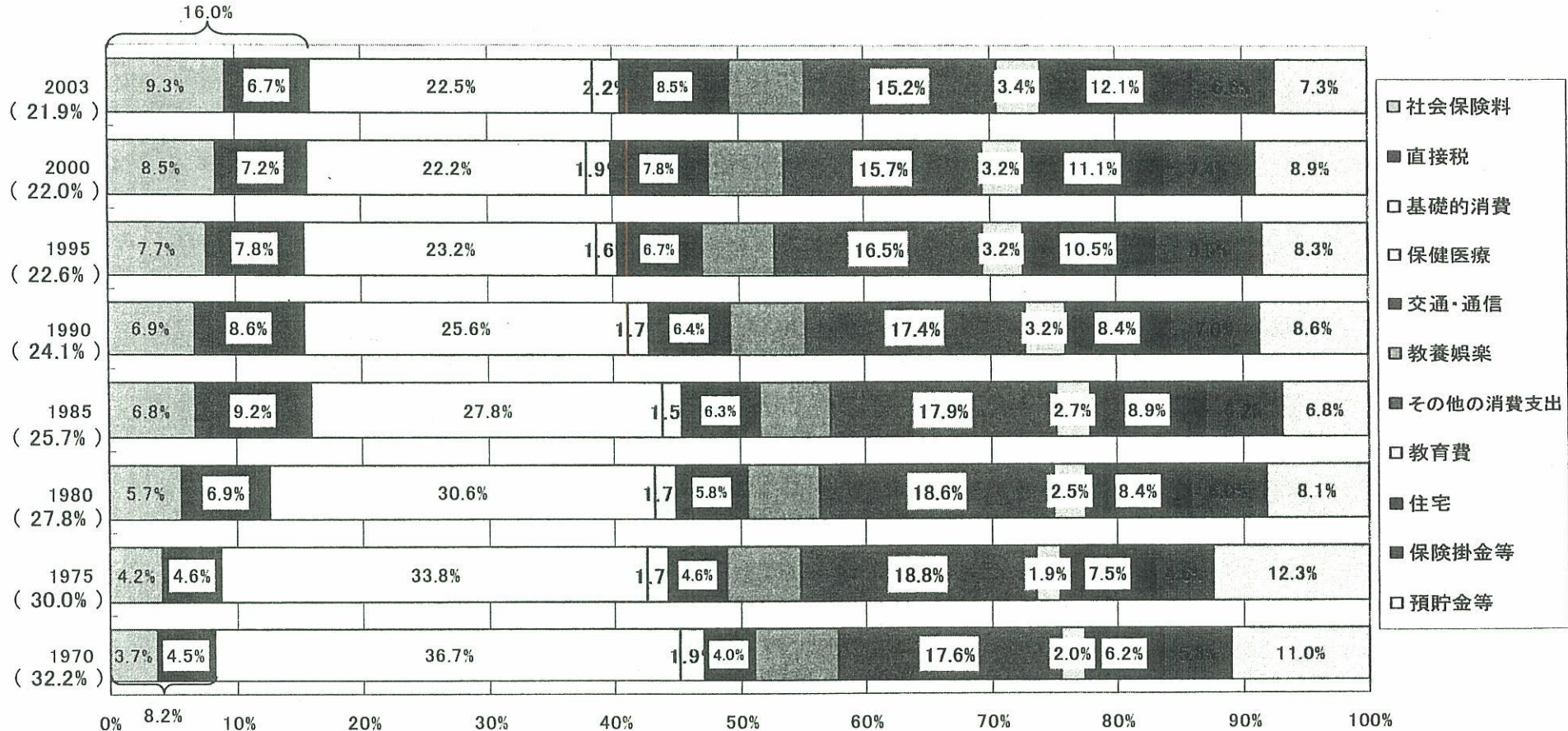


# 家計支出の現状と推移について

## 家計支出の現状(勤労者世帯)



注1: 「基礎的消費」は「食料」、「光熱・水道」、「家具・家事用品」、「被服及び履物」の合計。

注2: 「保健医療」は健康の維持、疾病の治療、身体の矯正のために必要な商品及びサービスへの支出の合計。

注3: 「住宅」は消費支出の「住居費」の他に住宅ローン等に係る費用が含まれている。

注4: 「その他の消費支出」は、「交際費」や「こづかい」などが含まれている。

注5: 「預貯金等」は、「預貯金」、「有価証券購入」と「繰越金」の合計額から「預貯金引出」、「有価証券売却」と「繰入金」の合計額を控除した額。

注6: 年の下の( )内の数値は、エンゲル係数(=食料/消費支出)を示している。この他にも、例えば勤労者世帯可処分所得は1971年→2001年で約1.4倍、住宅一人当たり量数は5.56畳(1968年)→11.24畳(1998年)、大学等進学率は26.8%(1971年)→45.1%(2001年)となっており、生活水準は向上している。

出典: 「平成15年 家計調査(総務省統計局)」